

## 2010 年度第 10 回執行理事会議事録

期 日：2011 年 3 月 5 日（土） 13:00～17:00

場 所：地質学会事務局

出席者：宮下会長 久田副会長 渡部副会長 藤本常務理事 齋藤副常務理事 井龍 小嶋  
石渡 内藤 中井 星 向山 山口 各理事，（事務局）橋辺

欠席者（委任状提出あり）：坂口 高木 西 平田 藤林

\*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者 13 名，委任状 5 名，合計 18 名の出席により執行理事会開催は成立。

\*前回議事録の承認

### I 審議事項（関連する報告事項と合わせて説明）

#### 1. 連携事業について

原子力安全基盤機構からの要請で地質学会から派遣する柏崎調査への技術評価委員候補が了承されたとの報告があり、同時に学会への一括委員委嘱手続きに替えて、評価活動の委託契約として契約したいとの打診があった。基本的には理事会で承認された活動内容であり、例示された契約内容も当初の評価委員会活動であるため、基本的に了承した。直ちに連携事業委員会の案件として検討し、4月の理事会に答申し、承認を得て契約に至ることを確認した。

また、並行して経費の見積もり等を策定して機構と契約内容を固め、同時に理事会に提出することとし、見積もり案の作成は執行理事会運営財務部会が担当することとした。

#### 2. 各賞に関し、運営規則、各賞選考規則、各賞選考委員会規則の改正について

##### 1) 古藤賞の名称および内容変更について

運営規則にある小藤賞(短報賞)を重要な発見を対象に、小藤文次郎賞として、論文(地質学雑誌に限らない)に対象範囲を広げ、対象年数も2年以内とする。選考検討委員会は作らない。

##### 2) 各賞選考規則について

・推薦者に理事会が入っている賞については、理事会推薦を外し、新たに専門部会を推薦者に加える。

・国際賞の受賞対象者として、非会員の制限を外す。

・各賞の応募方法の項に名誉会員を加えるか検討する。

##### 3) 支部が独自に、支部で功績のあった人を表彰できることについては、運営細則の第4章支部に記載する。

#### 3. 電子出版について（坂口・山口理事）

書籍の刊行について、その手続き等を定める規則案について、広報と企画出版委員会より提案があり、検討の結果、再度、検討要することとなった。

・何を対象にするか定義が必要。著者の持ち込み原稿を対象にして、地質学会が発行するというもの。著者にとっては名義がとれるメリットがある。

・著者、出版社、編集者、監修者として地質学会の名前が出版物に表示される物。

著作人格権は本人について回るので、著作財産権、著作隣接権(著作権等)は学会が持つと書

くだけでいいのではないか？

・地質学会と著者の間で出版物ごとに契約を結んで詳細をつめることも考えられる。

#### 4. 4月2日、理事会議事次第の検討

報告＞

1. 執行理事会報告（第7回－10回議事録参照）
2. 個別の報告（各賞選考委員会、名誉会員推薦委員会など）
3. 理事からの報告事項（短報の廃止、大会の進捗）
4. その他

審議事項＞

1. 2010年度事業報告
2. 2011年度事業計画および2011年度予算案
3. 名誉会員候補者の決定について
4. 各賞の決定について
5. 運営規則、理事会規則？その他関連規則の改正について
6. 地質用語国際標準対応委員会（仮称）の設置について
7. 男女共同参画委員会規則案
8. 総会議案について（5月21日、総評会館）
9. 連携事業推進委員会について
10. その他

#### 5. その他

- 1) 山田科学振興財団の研究助成に対する、2名の会員の応募について。地質学会は今回から新規の推薦団体となり、3件まで推薦することが認められている。  
1件については、タイトルの不備や、科研費、他財団に同様の申請があることなどについて、申請者に対して確認・修正を求める。そのうえで推薦を諾とすることとした。
- 2) 水戸大会関連事項  
・水戸大会見学旅行案内書冊子版の作成検討  
実行委員会の担当委員会より刊行計画書とともに印刷経費概算見積書が提出された。  
審議の結果了承することとした。表紙に「合同学術大会」であることを明記する。印刷所の選定は見積り価格によって契約する。
- 3) 男女共同参画委員会規則  
旧規約のうち評議員会→理事会とただけなので、他の規則と合わせるよう修正して、理事会に提案する。

## II 報告事項

### (1) 運営財政部会：総務委員会

<共催・後援その他依頼・要請等>

- 1) 地学教育学会より、地学教育フォーラム「地球を知れば知るほど、毎日が楽しくなる」

(4/23、深田研研修ホール)の後援名義使用依頼を承諾。

<外部の賞の募集>

- 1) 平成 23 年度東レ科学技術賞及び科学技術研究助成の募集 →HP、News 誌、Geo-flash に掲載。また、今年度の東レ各賞の授賞式 (3/16) への招待状、今年度は関係の受賞はなかった。

<その他>

- 1) 学術振興会より、平成 24 年度採用分の特別研究員および特別研究員-RPD の募集案内 →HP、News 誌、Geo-flash に掲載。
- 2) 地質学会監修の「地学は何ができるか」が地学オリンピック委員会の推薦本として紹介された。

<会員の動静>

- 1) 今月の入会者 (2 名)  
正会員 (1 名) 鈴木 進, 正〔院割〕会員 (1 名) 村田昌則
- 2) 今月の退会者・逝去者  
退会者 (正 1 名) 佐々木聡子 ※2011 年 3 月末退会予定者名簿を回覧した。  
逝去者 なし
- 3) 2 月末日会員数  
賛 28 名 誉 73 正会員 4135 (内訳: 正 3911, 院割 200, 学部割 24) 合計 4236  
(昨年比 -121)

<会計>

- 1) 3/4、会計委員会を開き、予算案作成に向けて検討した。  
各支部等の事業においては、なるべく収入を上げてもらうよう要請する。特集号の早期公開費用の計上を検討する。
- 2) 刊行済みのリーフレット 4(地層処分)について、原稿の不備による重要な印刷ミスがあり、印刷のやり直しについて編集委員会より相談を受けた。検討のうえ、重要性に鑑み刷りなおしを承諾した。

**(2) 広報部会：広報委員会**

- ・3/3 第 2 回惑星地球フォトコンテスト審査終了  
応募総数 426 件 最優秀賞 1 件 優秀賞 2 件 入賞 15 件  
昨年並みの応募点数があり、作品のレベルも高い印象であった。

**(3) 学術研究部会：行事委員会 (星)**

- 1) 水戸大会について
  - ・発表申し込み・参加登録の窓口、講演要旨の発行、などの実際的な面について、早急に協議する必要がある。今後機動的に行事担当者レベルでの協議を行い、執行理事会に報告していく。
  - ・トピックセッション応募数が大幅に増え、鉱物学会と調整中。
  - ・発表負担金を払えば 2 件目の発表を可能にする方向、及び発表申込者=発表者とするが発表者=筆頭の制限は外す方向で協議を進める(例: 学生を筆頭にして教員がセカンド以下で

発表できるようになる)。これらについては、今後の地質学会単独の大会でも採用する方向で検討する。

・ 共催シンポジウムについては、一般公開(有料)の方向で協議する。

#### (4) 学術研究部会：国際交流委員会 (石渡)

##### 1) IUGG2011 の広報について

今年の IUGG の LOC から広報について依頼があった。Geo-Flash, HP で宣伝することを了承。今後は学会の HP の英語版の充実も検討する必要がある。

##### 2) 地質用語国際標準対応委員会 (井龍理事)

JIS の原案作成委員会に対応して活動中。委員会規約を早急に検討する。

#### (5) 編集出版部会：地質学雑誌編集委員会 (小嶋編集委員長)

##### 1) 編集状況報告 (3月3日現在)。

2011 年度投稿論文 総数 14 編 [総説 2 (和文 2), 論説 9 (和文 9), 短報 (和文 1), ノート 2 (和文 2)] 口絵 2 (和文 2)

査読中 39 編 受理済み 17 編 (うち通常号 9 特集号 8)

・ 117 巻 2 月号：論説 2・短報 1・ノート 1・口絵 1 (43 ページ・校正中)

・ 117 巻 3 月号：特集号「モデル実験で探る地形・地層形成過程のダイナミクス」(世話人：横川美和ほか) (入稿中)

##### 2) 地質学雑誌の、トムソン社の Web of Science への収録は不採用となった。

ジャーナルの Citation Rate が低い、Reference に日本語が多く検索ができない、の理由。後者については現状で何が問題なのかを問い合わせている状況。

#### (6) 編集出版部会：アイランドアーク編集委員会 (井龍編集委員長)

・ 編集状況の報告

手持ち受理原稿が不足している状況。

#### (7) 編集出版部会：企画出版委員会 (担当：山口, 藤林)

・ 地質リーフレット 4 「日本列島と地質環境の長期安定性」(1月15日)が刊行されたが、活断層図及び凡例ほかに重要なミスが判明したので、検討・協議のうえ、会計担当理事の了解を得て、修正のうえ印刷をやり直すこととした。改正版は3月8日に刷り上がり予定。

・ 構造地質部会の出版計画は、「日本の地質構造百選」という内容で、項目提案も含めて写真を会員から公募することとなった。事務局の橋本善孝会員から構造地質部会の HP に情報が公開される予定。10月入稿, 来年4月末までの出版をめざす。出版社は朝倉書店を予定。

・ 三浦半島の地質図リーフレットの要望がある。内容品質の担保が重要。

#### (8) 社会貢献部会 (藤林)

##### 1) 地学教育委員会 (中井)

・ 水戸大会における教員巡検の実施に関し、当該巡検にのみ参加する人の年会参加費等について検討した。受付は全体と同じとし、参加登録費を払ってもらう。見学旅行の参加費は4200円を予定している。見学旅行参加者の費用負担が高額とならないよう、この行事への補助を実施する。補助の詳細については急ぎ検討する。

##### 2) 地質の日

- ・ 5月14日の本部行事を、News 3月号で広報予定。神奈川県博物館に共催依頼を出す。

### 3) 技術者継続教育委員会

- ・ 委員長の交代について

5月の総会をもって、公文富士夫委員長から吉田孝紀委員長に交代する。

### (9) オリンピック支援委員会 (久田)

- ・ 2012年の国際大会の日本開催に向けて、今年のイタリア大会の視察をする。坂口理事がオリンピック委員会広報小委員会のメンバーとして、出張する予定。
- ・ 企業からの募金を集めるため税制優遇の交渉している。

### (10) その他

(株)林原の経営破たんに関連して、同社および管財人に対し要望書を届けたことが報告された。

以上